

図書館だより

平成25年11月1日発行

第86号



門川町立図書館

TEL 0982-68-0001

FAX 0982-68-0024

<http://www.kadogawa-lib.jp>

新刊・話題の本

《一般》

★村上海賊の娘（上・下）

和田 竜／著 新潮社

★黒書院の六兵衛（上・下）

浅田 次郎／著 日本経済新聞出版社

★だから荒野

桐野 夏生／著 毎日新聞社

《児童》

★ほくのふとん

鈴木 のりたけ／作・絵 PHP 研究所

★ばばあちゃんのクリスマスかざり

さとう わきこ／作・絵 福音館書店

★おかあさんの顔

ロディ・ドイル／作 フレーベル館

おはなし会のご案内

●11月13日（水）11月27日（水）【時間 10：30～】

※乳児・幼児向けです。

●11月9日（土）【時間 11：00～】

※どなたでも

■利用時間：（火～金曜日）午前10時～午後7時
（土・日・祝）午前10時～午後5時

「本と旅する 本を旅する」
～2013年 第67回読書週間～

10月27日（日）～11月9日（土） 14日間

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵をつかさどる美貌の女神アテネの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといます。

森の奥深く、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」が読書週間のシンボルマークです。

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送などのマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界の中でも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさをしってもらうきっかけとなることを願っています。

■休館日：毎月1日（図書整理日）、毎週月曜日
年末年始、特別整理期間（年1度）